

ボランティア連絡協議会について

『箱根町ボランティア連絡協議会』（通称：ボラ連）は、箱根町内で“福祉”に関するボランティア活動をする個人やグループが会員となり、ボランティア同士の連絡調整や地域でのボランティア活動の推進・啓発・広報を目的に活動している団体です。

現在は9団体、約60名の会員が登録されています。

この箱根町ボランティア通信では、今年度ボラ連で行った行事、各団体の活動を紹介いたします。

登録ボランティアグループ一覧

- ☆むつみ会 ☆たんぽぽの会 ☆桂秀会
- ☆点字サークルはこね ☆箱根町録音サークル
- ☆二ノ平寄せ木の会《休会中》 ☆宮城野寄せ木の会
- ☆紅葉会 ☆はこねこTNR

計9団体

災害ボランティア

災害ボランティアセンター設置運営訓練に参加しました

令和7年10月3日(金)、箱根町社会福祉協議会が行っている「災害ボランティアセンター設置運営訓練」に参加協力いただきました。

今年度の訓練は、災害ボランティアセンターの役割について確認したのち、近年県社協を中心に市町村社協に普及されているICT技術を活用しボランティアの受付、登録体験を実施しました。年に1度の訓練ですが、平常時から災害に備えること、災害ボランティアセンターの知見者を増やすためにも、今後も定期的を実施し、協力を賜りたいと思います。

※10月9日(木)に参加を予定していた町総合防災訓練は雨天のため中止となりました。(事務局)



会員交流研修会

令和7年12月10日(水)、箱根町ボランティア連絡協議会・生活支援コーディネーター研修会の共同事業として『孤独・孤立対策推進法とつながりサポーターセミナー』を開催しました。

講師には、神奈川県福祉子どもみらい局 福祉部生活支援課（生活困窮者対策グループ）の職員を招き、箱根町ボランティア連絡協議会会員、民生委員児童委員、人権擁護委員、女性会、老人クラブ、高齢者サロン関係者、町職員、社協職員等あわせて31名で受講しました。

孤独・孤立を地域で生まないために、今一度地域のことを考えるきっかけとなり、有意義な研修となりました。(事務局)



むつみ会

毎月、宮城野のさくら館にてオレンジカフェ（認知症カフェ）の活動をしています。地域包括支援センターの職員によるミニ講話や参加された皆さんと歌をうたったり、クイズをしたりお茶やコーヒーを飲みながら（お菓子もちよっぴり付いています）楽しい時間のお手伝いをさせていただきます。

これからも地域のボランティア活動に、微力ながら協力してまいります。(勝俣 美内子)



たんぽぽの会

「生活のしづらさ」を抱えた心の病のある方たちと交流することにより、誰もが住み良い地域づくりを目指す目的で開催された「精神保健ボランティア講座」を受講後、活動が始まりました。(平成18年)精神保健福祉士、病院院長、当事者の方のお話、施設体験で基礎的なことを学び、交流会も参加しました。

平成20年には、ボランティア養成講座に「たんぽぽの会」として出席しました。

平成27年のボランティアセミナーでは、正しい知識を持ってより身近なところで支えられる地域を目指し、当事者の自主性と自己決定を促す支援を学びました。

箱根町では「生活教室」を開き、様々なプログラム（ものづくり・レクリエーション・野外活動）を実施しています。話し相手を作ること、生活リズムをつけたりすることを目的としています。令和7年は「ラジオ体操」、「アクセサリー作り」、「茶話会」、「クロスワード」で楽しいひとときを過ごしました。(金指 和子)

桂 秀 会

『遊芸』

35年間ご指導くださった滝口桂子様こと花柳秀昭師匠（94才）が、昨年旅立たれ、お別れは万感胸に迫りました。

日頃の教えに芸事は「遊芸」と言われ、“楽しく・仲良くそして日本文化を大切に”をモットーにお稽古を付けていただきました。

これからも日本舞踊を始めたころのひたむきな気持ちと感謝を忘れることなく、息づく伝統を私たちはポテンシャルを信じ脈脈と精進してまいります。

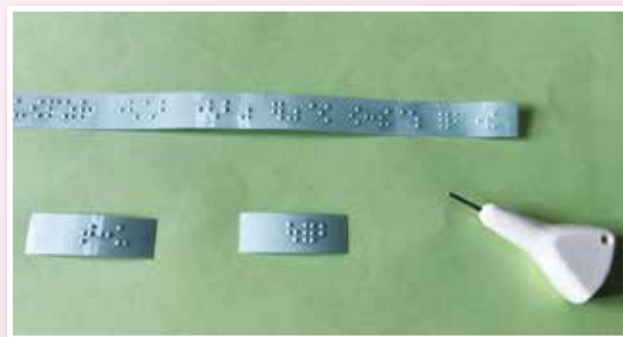
聞こえます!! 踊りの間にはさむ師匠の力強い合いの手が…! (小林 眞弓)



点字サークルはこね

「点字サークルはこね」の活動としては、例年通り、町から依頼された町各課名のシールの作成、広報はこねの点訳（抜粋）を実施しました。また、箱根町選挙管理委員会からの依頼で箱根町議会議員選挙のシールを作成しました。

(代田 美子)



箱根町録音サークル

私たち箱根町録音サークルは、視覚障がい者の方へ町の情報をお届けし、少しでもお役に立てるよう活動をしています。

毎月、月初めに「広報はこね」、他に「社協はこね」年3回、「議会だより」年4回を録音制作しています。利用者にはCDでお届けしていますが、毎回不出来で反省することも多々あります。

私たちは現在7名ですが、和やかな雰囲気の中で活動することをモットーとしています。ご高齢の方や細かい文字が見づらい、読みづらいという方にも送付できますので、ご一報いただければと思います。

(伊東 元子)



紅葉会

昨年に引き続き花植えボランティア活動として湯本分署と社協のところへ花を植えました。

社協の花壇は地植えなので、草がかなり生えていたので5月の草むしり、7月・9月の花植えは暑いなかでの活動となり大変でしたが、植えたあとお花がきれいに咲いているところを見ると心が安らぎます。

これからもボランティア活動に精進していきたいと思います。
(安藤 のり子)



宮城野寄せ木の会



「宮城野寄せ木の会」は、高齢者の方の食事会を通して安否確認と心の交流を目的としています。年に1度の開催です。今回は11月26日に宮城野公民館で、参加者16名、ボランティア9名で行いました。

毎回どんな料理にしようか、食べやすさなどを工夫してすべて手作りにしています。ボランティアさんたちと、時間に間に合わせ料理が用意できたときは、ホッとします。皆が笑顔になりおいしいと言ってくださると、私たちも大変うれしくなります。社会福祉協議会からの食材の提供があり、助かりました。食事後、恒例のくじ引き、ゲームなどを行いおしゃべりに花を咲かせ、楽しい時間を共有できました。
(星野 洋子)

はこねこTNR

野良猫0をめざして

飼い主のいない猫を放置するのではなく、猫の嫌いな人にも、ある程度許容してもらい「地域猫」として一定の管理と見守り、将来的には飼い主のいない猫を減らす事を目標としています。

TNR活動は継続することにより不幸な命を減らします。

不妊去勢手術を済ませ一代限りの命となりこれ以上増える事はありません。

2025年 地域別
箱根町内TNR70匹さくら猫デビュー
2025年1月～12月

場所	オス	メス	地域別合計数
仙石原	27	32	59
宮城野	2	2	4
湯本	0	0	0
箱根	4	3	7
温泉	0	0	0
合計数	33	37	70

保護 地域別
箱根町内41匹保護

場所	オス	メス
仙石原	12	21
宮城野	1	
湯本	3	
箱根	2	2
合計数	18	23

※箱根町1匹：保護後虹の橋を渡りました。



2025年、捨て猫からの繁殖が確認できた場所がありました。改めて遺棄は犯罪です。地域での見守り継続をお願いいたします。

○飼育困難になる前に、かわいいペットの行く先を考えてください。(遺言記載を残しましょう。)

- ☆ 耳カット無猫を見かけたら
- ☆ 猫の不要品
- ☆ ボランティア協力

箱根町環境課、箱根町社会福祉協議会、近所の猫好きへ連絡をお願いいたします。

代表 村岡 (090-2203-5911または

hakonekotnr@yahoo.co.jp)

仙石原小学校福祉学習

「福祉教育講座」を実施しました!

令和8年2月6日(金)、仙石原小学校の学校一日公開日にあわせ5・6年生 計22名を対象に「地域であわせに暮らす～動物福祉の観点から～」というテーマで開催しました。

講師は、はこねこTNRのご紹介でTNR手術にご尽力いただいている小田原のSwingどうぶつ病院の平野獣医師、同病院勤務医の大宮獣医師にご協力いただきました。

5年生は今年度、6年生は昨年度社会福祉協議会職員にて社協のしごと、じぶんたちができるボランティア活動についての福祉教育講座を実施しており、今回TNR手術を実際に行っている講師の話聞いて「これからは地域で暮らす猫も地域の一員として温かい心で接していきたい」、「さくら猫(TNR済み)の証である耳がカットされていない猫を見かけたら、大人の人へ知らせたい」等の声が聞かれ、児童や参観者にとって貴重な時間となりました。

社会福祉協議会では、ボランティア等の福祉活動を広め、福祉のまちづくり推進のために福祉教育講座を実施しております。講座に関する相談も随時承っておりますので、お気軽にボランティアセンター担当までお問い合わせください! (事務局)



ボランティア仲間募集中

ボランティア活動や、ボラ連の活動に関心のある方はお気軽にご連絡ください。

事務局

〒250-0311 箱根町湯本855 (旧湯本中学校1階)
箱根町社会福祉協議会内

TEL 0460-85-9000

FAX 0460-85-6888

発行：令和8年3月31日

箱根町ボランティア連絡協議会